

平成29年度第2回中仙地域協議会会議録

平成29年 7月 6日

中仙地域協議会

平成29年度第2回中仙地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■支所長あいさつ	2
■会議録署名委員の指名	3
■協議	3
(1)平成29年度地域枠予算執行予定事業について	3
■その他	9
(1)支所各課所管の事務事業等について	9
(2)その他	9
■閉会	9
■署名	10

■日 時：平成29年7月6日（木曜日）午後2時

■会 場：中仙支所2階 第21会議室

■出席委員：14名

秋山吉雄、伊藤 悟、熊谷 壽男、熊谷 亮、佐々木登代子
高橋 咲子、高橋 強、高橋 朝夫、佐々木 堅一、田口 馨
玉井 勝壽、富岡 喜榮、三浦 和則、渡部 明美

■欠席委員：3名

遠藤 まき、高橋 泉、高橋 トモ子

■出席職員：9名

佐藤 吉一（中仙支所長兼地域活性化推進室長）	草別 真紀子（市民サービス課長）
斎藤 秋彦（農林建設課長）	榊田 成悦（中仙公民館長）
戸堀 圭喜（市民サービス課参事）	山信田 恭弘（地域活性化推進室主幹）
進藤 哲規（地域活性化推進室主席主査）	

■次 第：

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 支所長あいさつ
- 4 会議録署名委員の指名
- 5 協議
 - (1) 平成29年度地域予算執行予定事業について
- 6 その他
 - (1) 支所各課所管の事務事業等について
 - (2) その他
- 7 閉会

(午後2時00分 開会)

○事務局（地域活性化推進室） 開会を宣言

【委嘱状の交付】

初めに、6月28日より新たに地域協議会委員に選任された佐々木堅一さんに支所長より委嘱状が交付されました。

○玉井勝壽中仙地域協議会長（以下「会長」と表記）

第2回の協議会に先立ちまして一言ご挨拶いたします。大雨のニュースで九州地方は大変な状況のようでございます。こちらでなくて良かったなというのが本音でありますけれども、その前にこのようなことも起こりうるということで、自分達のほうはどうかということを考え直すことも大切ではないかと思えます。

今回の協議会も案件様々ございますけれども、皆さんより忌憚のないご意見をいただきたいと思えます。佐々木委員におかれましても、どうかよろしく願いいたします。みなさんどうかよろしく願いいたします。

○佐藤支所長（以下「支所長」と表記）

本日はご多用の中ご出席を賜りましてありがとうございます。会に先立ちまして、私のほうから中仙地域の動きについてお知らせいたします。

7月2日、日曜日ですけれども、グランドプリンスホテル新高輪を会場にドンパンふるさと中仙会の29年度総会を開催しております。老松市長、地元市議会議員ほか、たくさんのご来賓と会員を含めまして79名の参加で開催しております。昔話に花を咲かせ、楽しい一時を過ごしていただけたと思っております。物産中仙、JA営農センターからも地元の特産物やお酒を持参いたしまして、お土産としてたくさん購入していただきました。

次に先月25日、日曜日ですけれども、中仙地域消防訓練大会が行われました。天候にも恵まれまして、日頃の訓練の成果を存分に発揮していただいた大会でした。小型ポンプ走法の部では、第3分団2部1班が第3分団1部1班を破り、昨年の雪辱を晴らし1位となっております。また、規律訓練の部では、第3分団が1位となっております。小型ポンプ走法及び規律訓練で1位となりましたチームは7月16日に大曲で行われます大仙仙北美郷地区訓練大会に中仙師団の代表として出場しますので、みなさんの応援をお願いしたいと思います。

また、各地区の運動会が6月4日から18日にかけて開催されました。詳細につきましては公民館長より報告があろうかと思えますが、地域の魅力再発見事業として行っておりますコミュニティポイント制度の対象ともなっております。今度も地域のイベントを対象として地域のみなさんの盛り上がりを後押しする事業として行っていきたいと考えております。

さらに「だいせん日和」7月号にも掲載されておりますけれども、豊岡地区のシンボル

樹木であります大仙市指定天然記念物「一里塚の皂莢（さいかち）」について、6月1日に森林総合研究所林木育種場長、ふるさと会相模会長、地元市議員、地域のみなさまにご出席いただきまして里帰り植樹を行いました。この一里塚の皂莢は旧白岩街道沿いにある推定樹齢400年にもなる巨木ですが、落雷による被害で幹に空洞が生じており、近年の暴風・突風にもさらされております。今回、寄り添うようにクローン苗を植樹しまして、大仙市、中仙地域のシンボルとして地域のみなさまと一緒に大事に育ててまいりますので、機会がありましたら成長を見守っていただければと思います。

以上が報告となりますが、委員のみなさまには今後ともご指導・ご協力くださいますようお願いいたします。

○事務局（地域活性化推進室）

それでは協議に入りたいと思います。

本日の協議会は委員の2分の1以上の出席をいただいておりますので、本協議会は成立しますことをご報告いたします。

それでは、会議の進行につきましては条例の規定により玉井会長にお願いいたします。

○会長

それでは次第4の「会議録署名委員の指名」ですが、今回は伊藤悟委員と高橋朝夫委員にお願いいたします。

次に次第5「協議」に移ります。「(1)平成29年度地域枠予算執行予定事業について」を議題とします。資料に基づきまして、担当課長より説明をお願いします。

○榊田中仙公民館長（以下「公民館長」と表記）

齋藤農林建設課長（以下「農林建設課長」と表記）

草別市民サービス課長（以下「市民サービス課長」と表記）

資料に基づき説明。

□実施類型Ⅰ型

1. 著名人に生き方を学ぶ集会開催事業

担当部署 中仙公民館

事業目的 中仙地域の小・中学生及び市民を対象に、eco実験パフォーマー らんま先生をお迎えして講演を実施する。内容として、環境問題や科学実験、パフォーマンスを融合させた参加型の講演会を予定。

らんま先生の講演を通じて、児童生徒は今後の学校や地域において健やかで心豊かにたくましく生きていくための知識や発想・応用力等の考える力を養い、学校と地域、保護者はより良い学校・教育環境を提供で

きるよう一体となり取り組むための相互の連携と協力を図る。

事業概要 「著名人に生き方を学ぶ集会」

○主催 大仙市 中仙地域PTA連合会

○日時 平成29年11月27日(月) 13:30~15:00

○会場 大仙市中仙市民会館「ドンパル」

○講師 eco実験パフォーマー らんま先生
(環境カウンセラー 環境パフォーマー)

○演題 「好きな仕事がなければ、
自分で好きな仕事をつくれればいい！」(仮)

○対象 中仙地域4小学校4~6年生(145名)

中仙地域2中学校1~3年生(221名)

教育関係者及び一般市民合わせて530名。

○その他 広報活動として、各小・中学校の学校報で保護者に周知する。

また、大仙市広報「だいせん日和」に講演会内容記事を掲載し広く市民に周知する。

事業費 456,418円(講演委託料・消耗品費)

2. わんぱく相撲開催支援事業

担当部署 中仙公民館

事業目的 「わんぱく相撲」は、中仙地域4小学校(4~6年生)の児童を対象に毎年開催され、子ども達が国技を体験できる貴重な機会であるとともに地域内小学校児童の交流の場となっている。

子ども達が体力づくりと伝統的なスポーツを体験することを目的に、旧・中仙町時代から継承している「わんぱく相撲」の開催を支援する。

事業概要 本年度「わんぱく相撲大会 豊岡場所」の開催にあたり、土俵表面形成及び徳俵中詰入替などを行う。

<参考>

○大会名 わんぱく相撲 豊岡場所

○開催日 平成29年7月28日(金) 8:50~

○主催 大仙市体育協会中仙支部

○主管 中仙相撲連盟、豊岡小学校

事業費 162,000円(委託料)

□実施類型Ⅱ型

1. 呑川環境整備事業

申請団体 呑川管理組合(農林建設課)

事業目的 呑川は、栄町から新町までの約160戸の防火、農業用水、及び流雪溝などの生活用水として活用されている。管理組合が実施する呑川と流

域の環境整備事業において、必要な重機等の借上げに係る経費について支援する。

事業概要 小滝川取水口から鈴木酒造店までの水路環境整備を実施する。

○実施日 平成29年8月27日(日)

○参加者 組合員

○内容 堰払い及び草刈り等

申請額 90,800円(重機等賃借料)

2. ドンパン節の里なかせんPR事業

申請団体 ドンパン祭り実行委員会(市民サービス課)

事業目的 昭和60年、立町30周年を記念して始めたドンパン祭りが中仙地域の活性化を図り、市民一体となり伝統的な行事として定着させることを目的とする。

また、ドンパン娘のPRにより、ドンパン節の里なかせんの地域イメージの再構築を図り、祭りをとおして伝統芸能などの文化交流、特産物の販売などの産業交流ができることを目的とする。

事業概要 <ドンパン祭り>

○開催日時 平成29年8月16日(水) 14時~20時30分

○場所 ドンパン広場(大仙市中仙支所正面玄関前)
オフィシャルブース

○内容 第1部 地域の児童生徒による郷土芸能
第2部 ドンパン踊り(ドンパン娘)
花火ショー

申請額 538,840円(印刷製本費・消耗品費)

3. 児童書道作品表装体験教室開催事業

申請団体 中仙表装倶楽部(中仙公民館)

事業目的 中仙地域小学校6年生を対象に、児童の手で作成した書道作品を表装の一種類の裏打ち表装をして記念に長く保存する。また、このことで書道や水墨画への愛着と理解を深めることを目的として開催する。

事業概要 1. 事業規模及び場所

平成29年度中仙地域内4小学校6年生の児童を対象に、中仙表装倶楽部員並びに協力員10名程で、それぞれの小学校に出向き指導して児童自らの表装作品を作成する。

※各小学校6年生の児童数

中仙小33人、清水小9人、豊川小8人、豊岡小8人 計58人

2. 活動計画

7月 各小学校に趣旨説明

8月 事前研修会を行い、下地の最終仕上げ作業まで行う。

9～10月 各小学校に出向き表装教室を開催する。

申請額 266,420円(表装用具等消耗品費)

○会長 ただいま「(1)平成29年度地域枠予算執行予定事業について」説明がありました。委員の皆さんの質問をお受けしたいと思います。

はじめにⅠ型の2事業についてお願いします。

(なし)

次にⅡ型の3事業についてお願いします。

○田口馨委員 児童書道作品表装体験教室について、事業の目的の中に「児童の手で作成した書道作品を、表装の一種類の裏打ち表装をして記念に長く保存する」とありますが、うまくイメージできないのですが、どのようなことをするのでしょうか。

○公民館長 通常の書道ですと半紙をそのまま壁に貼って展示となるのですが、書いたものを色のついた画用紙に貼り、掛け軸のような立派な形に整えるということです。そうすることで「自分の作品」として永く保存していこうとするものです。

○田口馨委員 1人ずつ、1作品ごとに表装するということですか。

○公民館長 そのとおりです。

○田口馨委員 大きな用紙に全員分を張って飾るというイメージでしたが、違うようですね。

○公民館長 できた作品を自分の記念にするということです。

○高橋朝夫委員 関連して、6年生が対象のようですが毎年やっているのですか。

○公民館長 今年で10年目となります。

○熊谷壽男委員 ドンパン節の里なかせんPR事業の事業費の内訳ですが、のぼり旗は新規に作るのですか。またはこれまであるものを増やすということですか。

○市民サービス課長 50枚作成するのぼり旗は「ドンパン祭り」と書いているこれまでのもので、経年劣化で状態の悪いものを取り替えるものです。40枚作成するものはドンパン娘のPR用で新規になります。

○熊谷壽男委員 この経費については消耗品ではないでしょうか。

○市民サービス課長 既製品ではなく、印刷してもらうため印刷製本費としております。

○熊谷壽男委員 わかりました。

○会長 ほかにございませんか。

○田口馨委員 関連して、手拭いを1,000枚とのことですが、この枚数で間に合うのでしょうか。

○市民サービス課長 昨年も同数でしたが、残っているような状況でしたので大丈夫かと思えます。

○会長 手拭いは何年も使えるものですか。

○市民サービス課長 第何回と入れていた時期もありましたが、今回のものは入れていません。

○高橋朝夫委員 手拭いのデザインは、ドンパン祭り特有のデザインですか。

○市民サービス課長 今年はこのようなドンパン娘を取り入れたデザインとなっています。

○高橋朝夫委員 1階にも手拭いが飾っていましたが、あれとは別ですか。

○市民サービス課長 1階のものは昨年作成したもので、今年はまた別のドンパン娘がデザインされています。

○高橋朝夫委員 ドンパン祭り特有のデザインであれば、踊り参加者に配るものいいですが、参加者に販売するという考えはないのでしょうか。

○市民サービス課長 昨年のもものは道の駅で販売されています。

○高橋朝夫委員 観光地を歩いていると、カラフルなご当地手拭いをけっこう見かけます。中仙地域といわず大仙市のPRにもなることですので考えてはどうかなと思います。

○事務局（地域活性化推進室） 手拭いについて補足ですが、手拭いのデザインについて

は実行委員会で決定したものです。販売についてですが、販売も行っています。ただ、今回地域枠に申請されている1000枚については、PR用ですのでお祭りの参加した方に配布する分になります。販売する分については、これとは別に実行委員会で作成しています。

○熊谷亮委員 道の駅では3本セットを600円で販売しています。今現在で4セット販売しています。これから夏にかけて売り上げも伸びてくるのではないかなと思っています。

○会長 ほかにございませんか。

○富岡喜榮委員 自身、ドンパン祭りから離れて久しいのですが、昔に比べて来場者数、参加者数はどうなのでしょう。

○市民サービス課長 昨年は実行委員会発表で、来場者数4万5千人でした。その前の年は4万人でした。

○支所長 ドンパン祭りにははじめから関わっていますが、最初は見せるという考え方でなく、自分達が踊って楽しむというお祭りでした。それから年々お祭りが大きくなっている印象です。お昼から夜までとおした形の人数で昨年は主催者発表で4万5千人ということです。近年は天気にも左右されますが、天気が良ければお客さんの入りは良いようです。

○会長 ほかにございませんか。

(なし)

ないようですので、事業の承認をいただきたいと思います。

それでは「著名人に生き方を学ぶ集会開催事業」について、承認してよろしいでしょうか。

(異議なし)

ご承認いただきました。

次に、「わんぱく相撲開催支援事業」について、承認してよろしいでしょうか。

(異議なし)

ご承認いただきました。

次に、「呑川環境整備事業」について、承認してよろしいでしょうか。

(異議なし)

ご承認いただきました。

次に、「ドンパン節の里なかせんPR事業」について、承認してよろしいでしょうか。
(異議なし)
ご承認いただきました。

次に、「児童書道作品表装体験教室開催事業」について、承認してよろしいでしょうか。
(異議なし)
ご承認いただきました。

ありがとうございます。今回協議いただいた事業について、全てご承認いただきました。
以上で「平成29年度地域枠予算予算執行予定事業について」の審議を終わります。

次に次第6「その他」に移ります。
「(1)支所各課所管の事務事業等について」ということで、各課長より事務事業の予定で
すとか、進捗状況等の説明があるようですので、よろしくをお願いします。

○支所長（地域活性化推進室）

市民サービス課長
農林建設課長
中仙公民館長

資料に基づき説明。

ただいま説明がありました。質問などございましたらお願いしたいと思います。
(なし)
ないようですので、「支所各課所管の事務事業等について」を終わります。

次に「(2)その他」に移ります。委員のみなさんから何かございませんか。
(なし)
ないようですので、次第6「その他」を終わります。

本日は、長時間にわたりご協議いただきまして誠にありがとうございました。これをも
ちまして、平成29年度第2回中仙地域協議会を終了いたします。お疲れ様でした。

(午後 3 時 5 分 閉会)

中仙地域協議会運営規程第 7 条第 2 項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員
